



副腎腫瘍

■ 病気の概要

副腎は腎臓の近くにある小さな臓器で、ホルモンを分泌しています。副腎腫瘍は副腎に発生する腫瘍で、クッシング症候群（副腎性）の原因になる場合や、高血圧（褐色細胞腫）を引き起こす場合があります。健診の超音波検査で偶然発見されることもあります。

■ 主な症状（飼い主さんが気づくサイン）

- ・クッシング症候群による症状（多飲多尿・お腹が張る・脱毛）
- ・高血圧に関連した症状（突然の視力低下・発作）
- ・健康診断での発見（症状が無い場合）
- ・食欲不振・元気消失

■ どんな検査をするの？

- ・血液検査・尿検査（ホルモン値の評価）
- ・ACTH 刺激試験
- ・腹部超音波検査（副腎の大きさ・形態）
- ・CT 検査：専門施設をご紹介します
- ・血圧測定

■ 治療方法

内科治療

- ・手術まで・または手術不適応例への薬物療法
- ・トリロスタン（クッシング症候群の治療）
- ・高血圧の治療（褐色細胞腫の場合、手術まで内服）

外科治療

- ・副腎摘出術（根治治療）：専門医を招いての手術になります
- ・術前の CT 撮影は専門施設での検査が必要です

■ ご家庭で気をつけること

- ・術後の定期的なホルモン検査
- ・投薬継続の管理
- ・急な元気消失・血圧変動には注意

■ よくある質問

Q. CT 検査は必要ですか？

A. 副腎と大静脈の位置関係の把握に重要です。専門施設での CT 撮影をご案内します。

Q. 手術はどこで行うのですか？

A. 専門性の高い手術のため、専門医を招いての手術、または専門施設への紹介となります。ご相談ください。

Q. クッシング症候群と副腎腫瘍は別の病気ですか？

A. クッシング症候群の約 15%が副腎腫瘍によるものです。原因を調べるために精密検査が必要です。

■ なつ動物病院での診療について

副腎腫瘍の診断・内科管理に対応します。手術が必要な場合は専門医を招いての手術または専門施設へのご紹介をご案内します。

なつ動物病院 気になることがあれば、予約外でもお気軽にご来院ください